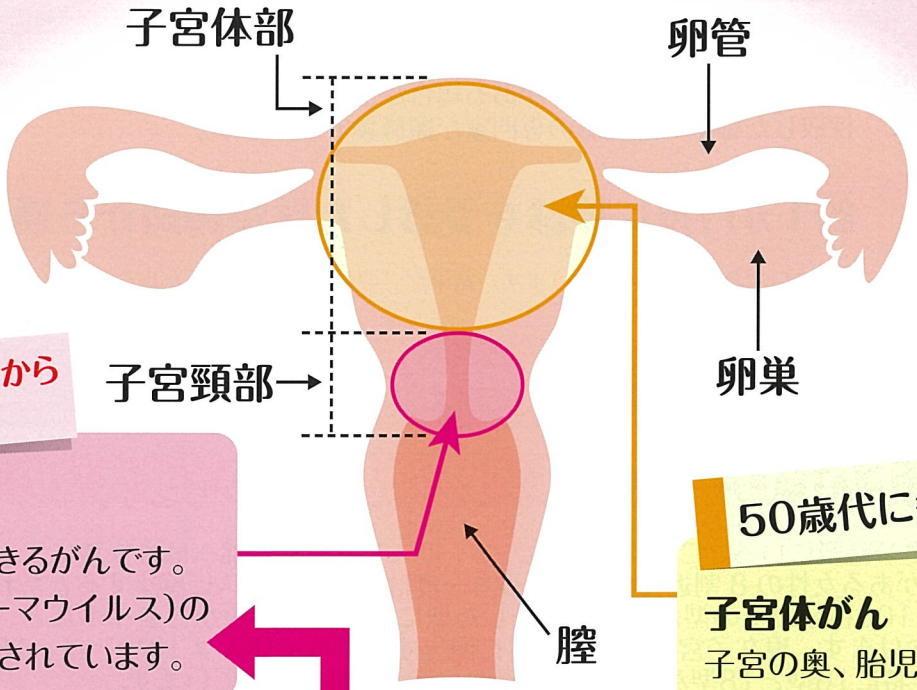
子宮頸がん検診を受ける方へ

子宮がんには、「子宮頸がん」と「子宮体がん」があります。



20歳代後半から増加!

子宮頸がん
子宮の入り口にできるがんです。
HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が主な原因とされています。

郡山市が実施する子宮がん検診は子宮頸がんの検診です。

50歳代に多い

子宮体がん
子宮の奥、胎児を収める子宮体部にできるがんです。
50歳代に多く、閉経後はさらに高率となります。

「不正出血」、「月経異常」、「褐色のおりもの」などがある方は、子宮体がんの検査もお勧めします。医師にご相談ください。

受診前に下記内容をご確認ください。不明な点は医療機関にお問合せください。

子宮頸がんについて

- ☑ 子宮頸がんは女性のがんの中で罹患する人が多く、特に**30～40歳代の女性**で近年**増加傾向**にあるがんです。
- ☑ 検診を受けることで、**がんになるリスクや死亡リスクが減少**します。
- ☑ 検診は**2年に1度**定期的に受けてください。ただし、月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則などの**症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診**してください。
- ☑ 検診で「要精密検査」となった場合は、その後**必ず精密検査を受けてください。**
- ☑ 精密検査はコルポスコープ下(膣拡大鏡)の組織診・細胞診・HPV 検査などを組み合わせて行います。
- ☑ 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。
- ☑ 検診は郡山市と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は郡山市と医療機関で共有します。

お問合せ先
郡山市保健所健康づくり課
TEL：924-2900

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C010137
VEGETABLE OIL INK

検診の流れ

1 問　診 子宮頸がん検診について説明を受け、問診票を記入します。

2 視診・内診 内診台に座り、医師による診察を受けます。
※検診時に詳しい検査が必要と判断された場合、保険診療として別途料金がかかる場合があります。

3 細胞診 医師が、子宮頸部から専用の器具で細胞をこすり取ります。
この時少しの出血や痛みがある場合があります。
採取した細胞を細胞診の専門家が顕微鏡で調べます。



郡山市イメージキャラクター
がくとくんの妹　おんぷちゃん

結　果 約1ヵ月後に検診を受診した医療機関から通知されます。

「精密検査不要」か**「要精密検査」**のいずれかの判断となります。結果が**「要精密検査」**だった場合は、必ず精密検査を実施できる婦人科医療機関を受診してください。

きちんと知ろう。子宮頸がんのこと。



郡山市イメージキャラクター
がくとくん

Q1 HPV(ヒトパピローマウイルス)とはどんなウイルスなの?

A HPVは人の皮膚や粘膜にいる、ごくありふれたウイルスで、子宮頸部へは性交渉によって感染します。(性交経験がある女性の８割近くが一生のうち一度はこのウイルスに感染すると言われています。) HPVには、100種類以上の型があり、感染した型によって子宮頸がんやイボなど、引き起こされる病気が異なります。現在子宮頸がんの発生に関与する“ハイリスク HPV”は、15種類が関わっていますが、特に16型と18型が世界的に患者から高率に検出されています。

Q2 HPVに感染するとみんな子宮頸がんになるの?

A 子宮頸部に HPVが侵入しても、ほとんどの場合感染は一時的で、ウイルスは自然に排除されます。しかし、10%程度の人でウイルスが排除されずに長期間感染が続き、ごく一部でがんになる前の状態になり、数年から十数年かけて子宮頸がんになっていくと言われています。

Q3 子宮頸がんの症状は?進行するとどうなるの?

A 初期段階ではほとんど自覚症状がありません。
不正出血や痛みなどの症状が出てくるまで進行すると、子宮の手術のほか、放射線や薬を使った治療も必要になります。**妊娠や出産だけでなく、排泄などの日常生活にも影響を及ぼすことがあります。**

20歳から、２年に１回検診を受けることが大切です。

科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン
「日本人のためのがん予防法（5+1）」



出典：国立がん研究センター「科学的根拠に基づくがん予防」

お忘れではないですか?乳がん検診

40歳以上
偶数年齢
女性

乳がんは女性の約９人に１人がかかる病気といわれています。乳がん検診の検査方法はマンモグラフィ(乳房を挟みＸ線撮影をします)で乳房の状態を確認します。
対象年齢に該当する方はぜひ乳がん検診を受けましょう。
日ごろから自分の乳房に関心を持ち、「見て」「触って」「感じる」**セルフチェック**を行いましょう。(生理中は避けて行ってください)

詳しくはこちら
郡山市女性の検診